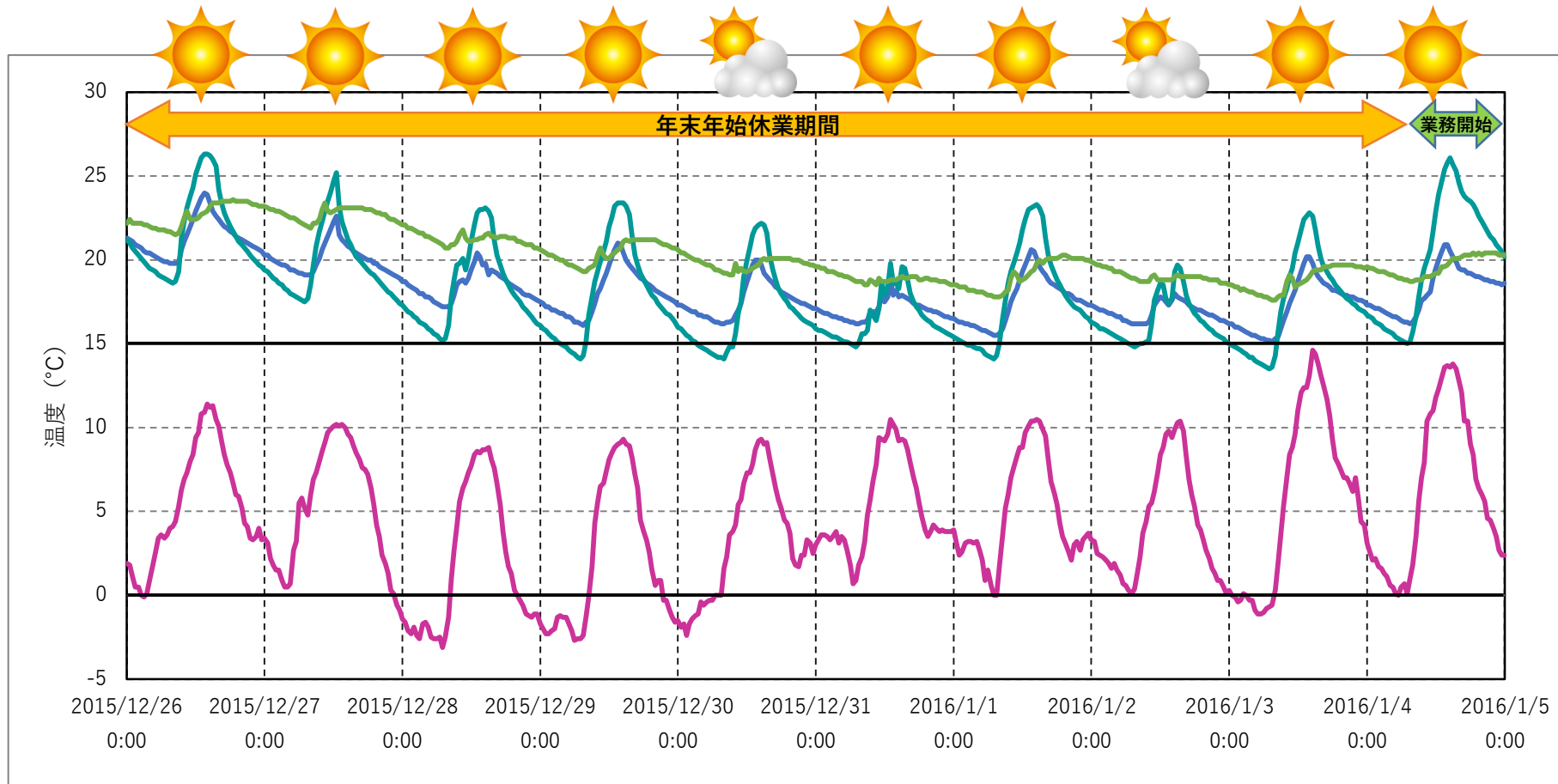


平成27年度 冬季休業期間の協会社屋 温熱測定結果 (2015/12/26 ~ 2016/1/5)



	1Fホール	2Fホール	水蓄熱	外気温
単位	°C	°C	°C	°C
収録データ数	481	481	481	481
欠損データ数	0	0	0	0
測定間隔	0:30:00	0:30:00	0:30:00	0:30:00
最高値	24	26.3	23.6	14.6
最低値	15.1	13.5	17.6	-3.1
平均値	18.2	18.3	20.2	4.4

【検証期間】

2015/12/25 8:30 ~ 2016/1/5 0:00 (年末年始休業期間)

【条件】

無暖房 (パソコンなどの電化製品も稼動していない)、無人状態
南側の窓のみハニカムブラインドを開け、その他は閉めた状態にして測定

【結果】

1Fホールと2Fホールは、平均値はほぼ一緒であったが、最高値と最低値を比較すると、1Fホールの方が温度の振れ幅が小さかった。1Fには水蓄熱や潜熱蓄熱など高い熱容量があるため、日射熱を蓄積し、室温を保っていると考えられた。また、外気温と室内温度の平均値の差は約+14°Cであったが、この結果は過去の冬季休業期間の温熱測定結果と一致している。従って、この建物の自然温度は14°Cであることがわかった。